



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6277 URL <https://www.hosokawamicon.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 細川 晃平
問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 副社長執行役員 (氏名) 井上 鉄也 (TEL) 072-855-2225
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	60,911	4.5	2,650	△53.4	3,372	△45.7	2,142	△50.1
2025年9月期第3四半期	58,298	△6.6	5,688	△3.2	6,212	△6.0	4,294	8.4

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 6,393百万円(△3.6%) 2025年9月期第3四半期 6,628百万円(△18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	146.20	146.07
2025年9月期第3四半期	290.06	289.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	106,066	71,837	67.7
2025年9月期	102,734	67,219	65.4

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 71,819百万円 2025年9月期 67,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2026年9月期	—	65.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	75.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年9月期(予想)の期末配当の内訳 普通配当 65円00銭 記念配当 10円00銭(創業110周年記念配当)

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	83,000	6.4	4,500	△36.2	5,200	△32.6	3,200	△29.3
								218.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2026年8月7日)公表の「2026年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	15,730,538株	2025年9月期	15,730,538株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	1,066,413株	2025年9月期	1,094,550株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	14,657,640株	2025年9月期3Q	14,805,324株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、消費の底堅さ、AI関連投資の拡大、さらには各国政府による財政政策や補助金等が背景となり、緩やかな回復が続きました。しかし、世界的なAI関連需要の堅調さが下支えとして期待される一方、中東情勢の緊迫化が続いており、エネルギー価格上昇を受けたコスト増や供給制約による生産活動の下振れ、中東地域における物流・輸送網の混乱などの影響で、世界経済の先行きは予断を許さない状況であります。

このような経済環境のなか、当第3四半期連結累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前期増減額	前年同期比(%)
受注高	58,989	61,236	2,246	3.8
受注残高	47,581	47,145	△435	△0.9
売上高	58,298	60,911	2,613	4.5
営業利益	5,688	2,650	△3,038	△53.4
経常利益	6,212	3,372	△2,840	△45.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,294	2,142	△2,151	△50.1

レアアースなど一部の戦略物資関連に活発な設備投資案件が見られるものの、中東地域など地政学リスクが引き続き緊迫していることから、大型案件を中心に受注遅延傾向が継続しております。売上面においては、石油関連製品で供給不安がある原材料もありましたが、生産や出荷への影響は見られておりません。このような中、特にドル及びユーロに対して円安が進行したこと、邦貨換算上の受注高及び売上高は増加しましたが、欧州地域を中心に売上高不足となっており、収益力の回復が遅れております。また、労務費を中心に販売管理費も上昇したことや、前年度に続き、欧州地域で事業構造改革費を計上したこと、収益面では減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<粉体関連事業>

当事業は、粉砕・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。

日本においては、茶葉向けの粉砕用システム案件が増加しているほか、地政学リスクの増大に伴い、海外では、レアアースなどの戦略物資関連の案件が増加傾向にあります。また、力を入れているメンテナンスサービス事業も順調に増加し、収益面での下支えとなっております。このように一部活況な分野はありますが、全般的には大型案件を中心に成約の遅延傾向が続いております。円安の影響もあり、邦貨換算上の受注高及び売上高は増加しましたが、欧州事業の収益力回復の遅れにより、セグメント利益は減益となりました。

これらの結果、受注高は479億7千5百万円（前年同期比10.0%の増加）、受注残高は380億9千9百万円（前年同期比3.3%の増加）となり、売上高は461億7千3百万円（前年同期比7.3%の増加）となりました。セグメント利益は34億2千5百万円（前年同期比28.3%の減少）となりました。

<プラスチック薄膜関連事業>

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

原油価格の動向に設備投資意欲が左右される当事業であります。原油価格が高止まりしていたことから、特に欧州及びアジアにおいて設備投資意欲の減退がみられました。一方、もう一つの主力市場であるアメリカ市場においては、第3四半期連結会計期間に入り、いくつかの案件を成約し、回復傾向がみられましたが、他地域での減少分をカバーするまでには至りませんでした。

これらの結果、受注高は132億6千万円（前年同期比13.8%の減少）、受注残高は90億4千5百万円（前年同期比15.5%の減少）となり、売上高は147億3千8百万円（前年同期比3.5%の減少）となりました。セグメント利益は4億2百万円（前年同期比80.1%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は、有形固定資産の増加などにより33億3千2百万円増加し、1,060億6千6百万円となりました。負債は、未払法人税等の減少などにより12億8千5百万円減少し、342億2千9百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の増加などにより46億1千8百万円増加し、718億3千7百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億5千2百万円減少し、303億3千2百万円となりました。各キャッシュ・フローの概要は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、13億4千万円の資金の増加（前年同期比58億1千万円の減少）となりました。主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、20億1千万円の資金の減少（前年同期比20億9千2百万円の増加）となりました。主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、18億8千7百万円の資金の減少（前年同期比3億9千2百万円の増加）となりました。主に配当金の支払額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2026年5月11日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年8月7日）公表の「2026年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,942	31,434
受取手形、売掛金及び契約資産	18,610	18,435
電子記録債権	898	808
製品	4,082	4,328
仕掛品	4,867	6,389
原材料及び貯蔵品	4,221	4,030
その他	2,884	3,142
貸倒引当金	△492	△482
流動資産合計	67,013	68,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,982	32,533
機械装置及び運搬具	20,007	21,379
土地	7,357	7,571
建設仮勘定	728	483
その他	4,421	4,183
減価償却累計額及び減損損失累計額	△31,410	△33,938
有形固定資産合計	31,087	32,213
無形固定資産		
のれん	113	99
その他	642	580
無形固定資産合計	756	679
投資その他の資産		
投資有価証券	2,947	3,992
繰延税金資産	791	914
その他	138	178
投資その他の資産合計	3,877	5,086
固定資産合計	35,721	37,979
資産合計	102,734	106,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,168	8,235
電子記録債務	1,206	362
1年内返済予定の長期借入金	158	282
未払費用	4,675	5,433
未払法人税等	1,323	334
契約負債	9,867	9,064
賞与引当金	731	318
役員賞与引当金	68	24
製品保証引当金	922	1,015
株式給付引当金	32	22
その他	2,764	2,371
流動負債合計	28,920	27,465
固定負債		
長期借入金	1,127	973
株式給付引当金	16	14
退職給付に係る負債	3,215	3,282
繰延税金負債	1,301	1,554
その他	933	938
固定負債合計	6,594	6,763
負債合計	35,514	34,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	3,205	3,196
利益剰余金	44,726	45,032
自己株式	△3,773	△3,676
株主資本合計	58,654	59,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	944	1,662
繰延ヘッジ損益	35	△19
為替換算調整勘定	7,802	11,374
退職給付に係る調整累計額	△261	△246
その他の包括利益累計額合計	8,520	12,771
新株予約権	44	18
純資産合計	67,219	71,837
負債純資産合計	102,734	106,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	58,298	60,911
売上原価	37,708	41,078
売上総利益	20,590	19,833
販売費及び一般管理費	14,901	17,183
営業利益	5,688	2,650
営業外収益		
受取利息	398	391
受取配当金	78	138
持分法による投資利益	63	94
為替差益	—	22
デリバティブ評価益	45	20
その他	81	110
営業外収益合計	666	777
営業外費用		
支払利息	13	43
為替差損	39	—
訴訟関連費用	68	—
その他	21	11
営業外費用合計	142	54
経常利益	6,212	3,372
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除売却損	5	47
事業構造改善費用	277	387
システム障害対応費用	—	22
システム開発に伴う損失	—	36
特別損失合計	282	494
税金等調整前四半期純利益	5,931	2,880
法人税等	1,637	737
四半期純利益	4,294	2,142
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,294	2,142

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,294	2,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	718
繰延ヘッジ損益	40	△54
為替換算調整勘定	2,219	3,571
退職給付に係る調整額	15	15
その他の包括利益合計	2,334	4,250
四半期包括利益	6,628	6,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,628	6,393
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,931	2,880
減価償却費	1,689	1,979
のれん償却額	18	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	45	△41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△383	△412
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46	△43
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	57	30
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△67	△26
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	6	△12
受取利息及び受取配当金	△476	△529
支払利息	13	43
持分法による投資損益 (△は益)	△63	△94
デリバティブ評価損益 (△は益)	△45	△20
固定資産除売却損益 (△は益)	4	46
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	4,761	1,253
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,002	△745
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,541	△237
契約負債の増減額 (△は減少)	△353	△1,459
前渡金の増減額 (△は増加)	△550	412
未払費用の増減額 (△は減少)	△123	263
その他	△218	△434
小計	8,660	2,871
利息及び配当金の受取額	576	629
利息の支払額	△13	△43
法人税等の支払額	△2,072	△2,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,150	1,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△869	△675
定期預金の払戻による収入	514	473
有価証券の取得による支出	△1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,662	△1,630
無形固定資産の取得による支出	△87	△179
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,103	△2,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	144
長期借入金の返済による支出	△280	△174
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△1,930	△1,776
リース債務の返済による支出	△68	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,280	△1,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	936	1,805
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,703	△752
現金及び現金同等物の期首残高	26,995	31,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,699	30,332

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,026	15,272	58,298	—	58,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	—	48	△48	—
計	43,074	15,272	58,346	△48	58,298
セグメント利益	4,776	2,019	6,796	△1,107	5,688

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,107百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,173	14,738	60,911	—	60,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	—	74	△74	—
計	46,247	14,738	60,986	△74	60,911
セグメント利益	3,425	402	3,827	△1,177	2,650

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,177百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。